

人間特性支援による安全管理及び教育手法に関する研究

【研究概要】

墜落・転落災害の発生原因には、作業者の不安全行動や現場の不安全な状態が関係している場合が多い。そのため労働安全衛生法では、事業場ごとに安全管理体制を構築することや、事業主および安全管理者等が管理・監督することを義務づけているが、職場巡視による事業場の調査だけでは本質的な災害対策は困難であることが指摘されており、安全管理者等が作業内容や作業者の行動について事前に予測し、適切な管理・監督ができるような取組が必要である。本研究では、安全管理者が職場の安全衛生状態を把握し管理・監督を適切に実行することや、作業者が安全衛生教育・訓練を通じて安全衛生への意識を高めることへの支援を目的とする。

